

令和5年気仙沼市東日本大震災追悼と防災のつどいを行いました（2023/3/11）

会 場：気仙沼中央公民館（宮城県気仙沼市）

3月11日（土）、気仙沼中央公民館を会場として気仙沼市主催、当研究所の共催で「令和5年気仙沼市東日本大震災追悼と防災のつどい」が開催され、市内外約200名が参加しました。今回の防災のつどいは、基調講演、特別防災講座、パネルディスカッションの構成で行われました。

神戸大学室崎益輝名誉教授による「防災行動を育む意識・認識・知識」の演題での基調講演に始まり、特別防災講座では気仙沼市危機管理監高橋義宏氏の「災害リスクから身を守る、とるべき避難行動」についての講座がありました。14時46分の一斉黙祷の後、「災害死ゼロを目指す様々な主体の防災行動」をテーマに、パネルディスカッションが行われました。当研究所から佐藤翔輔准教授（防災社会推進分野）がモデレーターとして参加しました。市内のパネリストの皆さんからは「避難はスピード最優先であること」「救護訓練等にも参加して地域の一員となること」「外国人の防災意識向上にも役立ちたい」など、活発に意見が出されました。最後に佐藤准教授が講評を行い、盛会のうちに終わりました。

また展示ブースでは、2011年東日本大震災での津波伝播、2022年1月トンガ火山噴火による津波のシミュレーションCG、当研究所気仙沼分室の活動のまとめを展示しました。展示ブースに訪れた人の中には、自分の目では見ていなかったあの時の様子を見て驚いたり、その後の色々な思いを語る方、避難方法を確認する方もいました。



基調講演
神戸大学 室崎 益輝 名誉教授



パネルディスカッションの様子



佐藤 翔輔 准教授



展示ブースの様子

文責：小野寺克江（気仙沼分室スタッフ）
担当教員：佐藤翔輔（防災社会推進分野）